

事業者の現状

- 新型コロナウイルス感染拡大による観光関連事業への影響と現状、今後の見通し
- 現状を受けて、観光産業の回復のため、今後必要となる取組とその中で県に求める役割

取組の検討に向けた視点

- 甚大な影響を受けた県内事業者の事業継続や、今後につながる基盤整備等に必要な取組について
- 新しい生活様式に対応した安全安心の取組について
- 新たな付加価値となる「安心感」の見える化に向けた取組について
- 近くから遠方に向かう（県内→国内→海外）旅行形態の回復傾向を踏まえた本県の事業展開の基本的な方向性について
- 本県の宿泊客の特徴である県内客3割超、東北を含めると5割超という域内流動の多さを生かす取組について
- 本県の観光客の年代は近年高年齢化の傾向にある中、感染の影響を受けにくい若年層旅行者から旅行活動を開始するとの見解を踏まえたターゲット層の設定とそれを取り込むための取組について
- 7月にも国のGo Toキャンペーンも開始が見込まれる中で、今後みやぎを旅行地として選んでもらうための取組について
- 地域の魅力を再発見するため、地域の関係者を巻き込みながらどう進めていくかについて
- 仙台圏の集客機能を最大限活用しながら、他の地域もいかに周遊してもらうかについて
- 社会構造変革に対応した中長期戦略へつなげる取組について（デジタルシフト、SDGs、インバウンド、観光地エリアマネジメント）